

癌化学療法 投与計画書 (新規・変更)

HL7番号

氏 名

生年月日

性別

提出

主治医:

病名: 多発性骨髄腫

患者本人へ説明した内容:

プロトコル名: DBLd療法(移植非適応 3～8サイクル目)

クール目

開始日

次回予定日

身長(cm) 体重(kg) 体表面積 (m²)

確認事項

□75歳を超える又は過少体重(BMI:18.5kg/m²未満)の患者には、サイクル1～8では、レナデックス錠20mgをday1,4,8,11に投与し(day2,5,9,12省略)
サイクル9以降は20mg/週を投与することを可とする。

	薬品名	プロトコル標準量	投与量	経路	点滴時間・速度	コメント	DAY 1	DAY 2	DAY 3	DAY 4	DAY 5	...	DAY 8	DAY 9	DAY 10	DAY 11	DAY 12	...	DAY 14	標準投与量
							1月 0日	1月 1日	1月 2日	1月 3日	1月 4日		1月 7日	1月 8日	1月 9日	1月 10日	1月 11日		1月 13日	
1	レナリドミドカプセル(5mg)	25mg/body		経口		CrCLが30～59ml/minの患者は10mg/body	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	レスタミンコフ錠(10mg)		3錠	経口		ダラキューロ投与 1～3時間前に内服	○													
	カロナール錠(200mg)		4錠	経口			○													
3	レナデックス錠(4mg)	20mg/body	5錠	経口			○	○		○	○		○	○		○	○			
4	生理食塩水		0.mL	皮下注		1Vあたり SS1.2mLで溶解	○			○			○			○				ボルテゾミブ
	ボルテゾミブ	1.3mg/m ²		皮下注			○			○			○			○				0.mg
5	ダラキューロ	15mL/body (ダラムマブとして1800mg)		皮下注	3～5分かけて投与	調製後 4時間以内に投与	○													ダラキューロ
																				15mL

1サイクル: 21日
投与日: ダラキューロ day1
ボルテゾミブ day1,4,8,11
レナリドミド day1-14
サイクル数: 8回

※臨床試験では、Dara→Borの順に投与しているが、メーカー確認したところ、投与順に意味はないとのこと。当院では他レジメンに準じてBor→Daraの順で投与とする。

《注意事項》

1.この計画書は、初回投与までに提出してください。提出のない場合は、混注対象外とします
2.計画を変更する場合は、その都度、計画書を提出してください。

※投薬上の注意などありましたら、ご指示下さい。